

enPiT 1年間の振り返り

2014.1.24

公立はこだて未来大学 木塚あゆみ

© ayumikizuka.com All Rights Reserved.

振り返りの流れ

1. 簡単にenPiTの流れを思い出そう
 2. 映像を見ながら、enPiTの授業を個別に思い出しながら Experience Map をみんなで作ろう
 3. 最後に作ったものを発表します
- ※ 時間が限られているので、チャッチャと進めます。
集中力を高めて！

enPiT全体振り返り

模造紙を広げます

1年間のまとめ

- **前期**

ICTデザイン通論

e-Learningを用いた基礎知識習得

- **夏休み期間**

ビジネスアプリケーション開発基礎演習（ミニPBL）

ビジネスサービスデザイン実践（BPM、大黒湯）

- **後期**

PBL型システム開発演習（分散PBL）



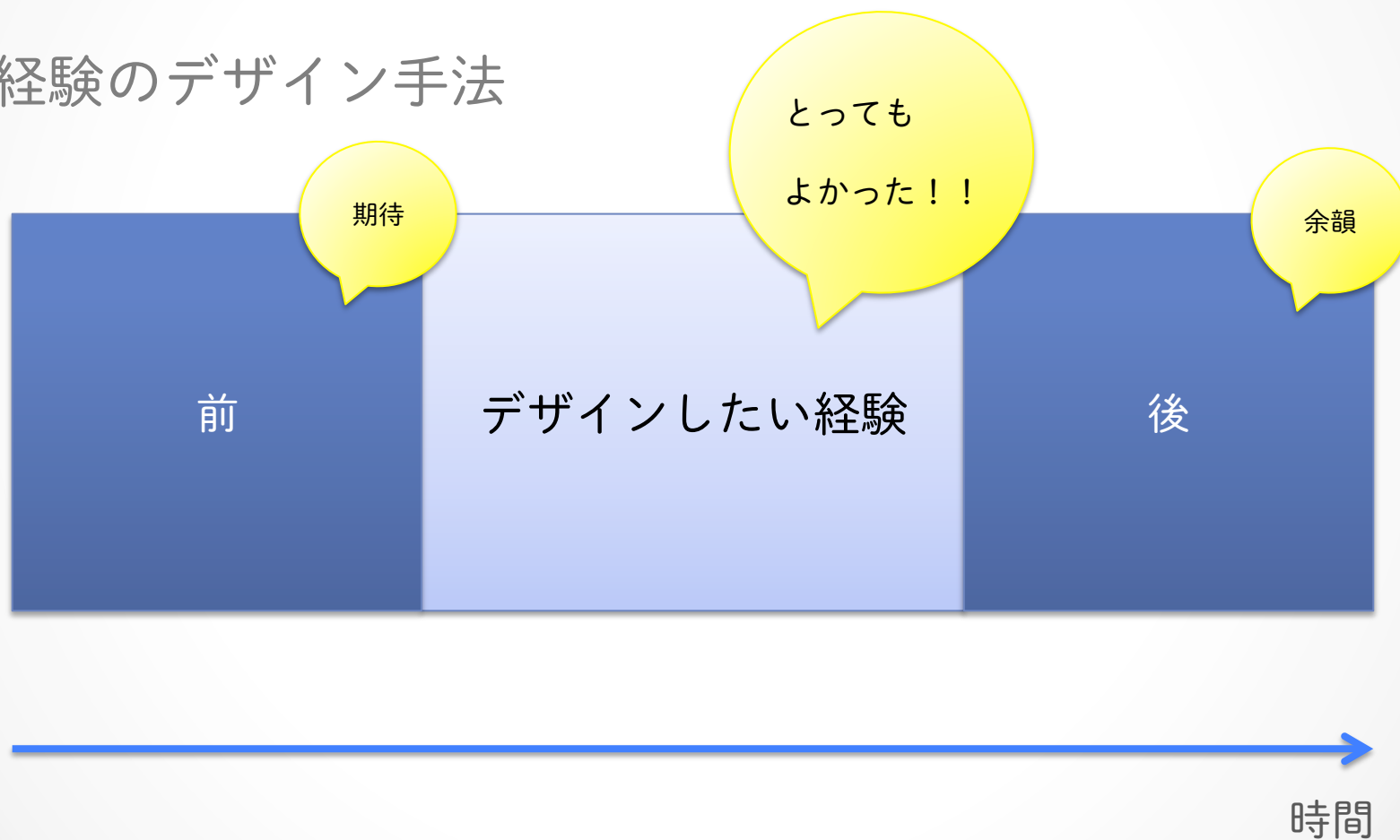
Experience Map とは

- 経験のデザイン手法

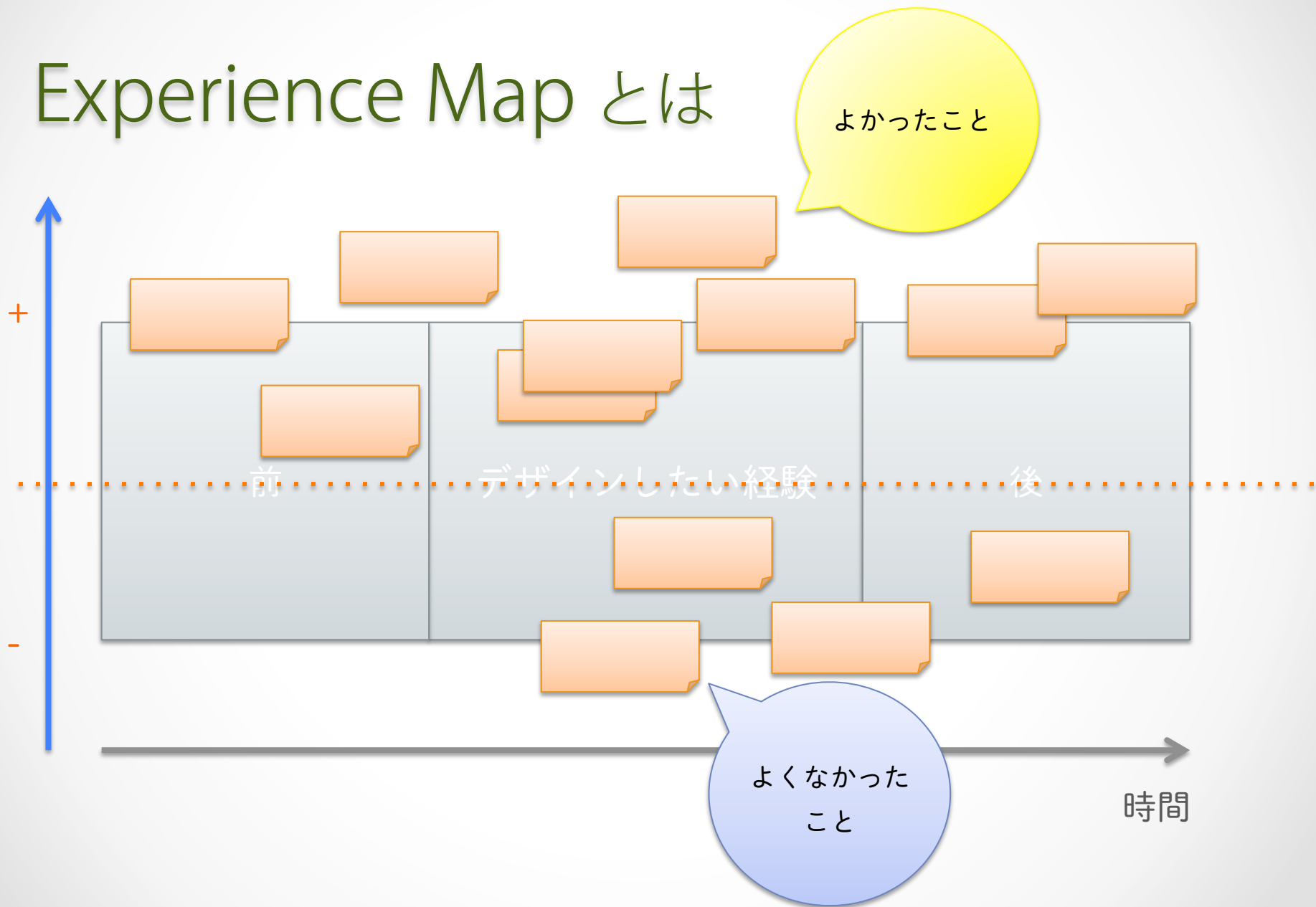


Experience Map とは

- 経験のデザイン手法

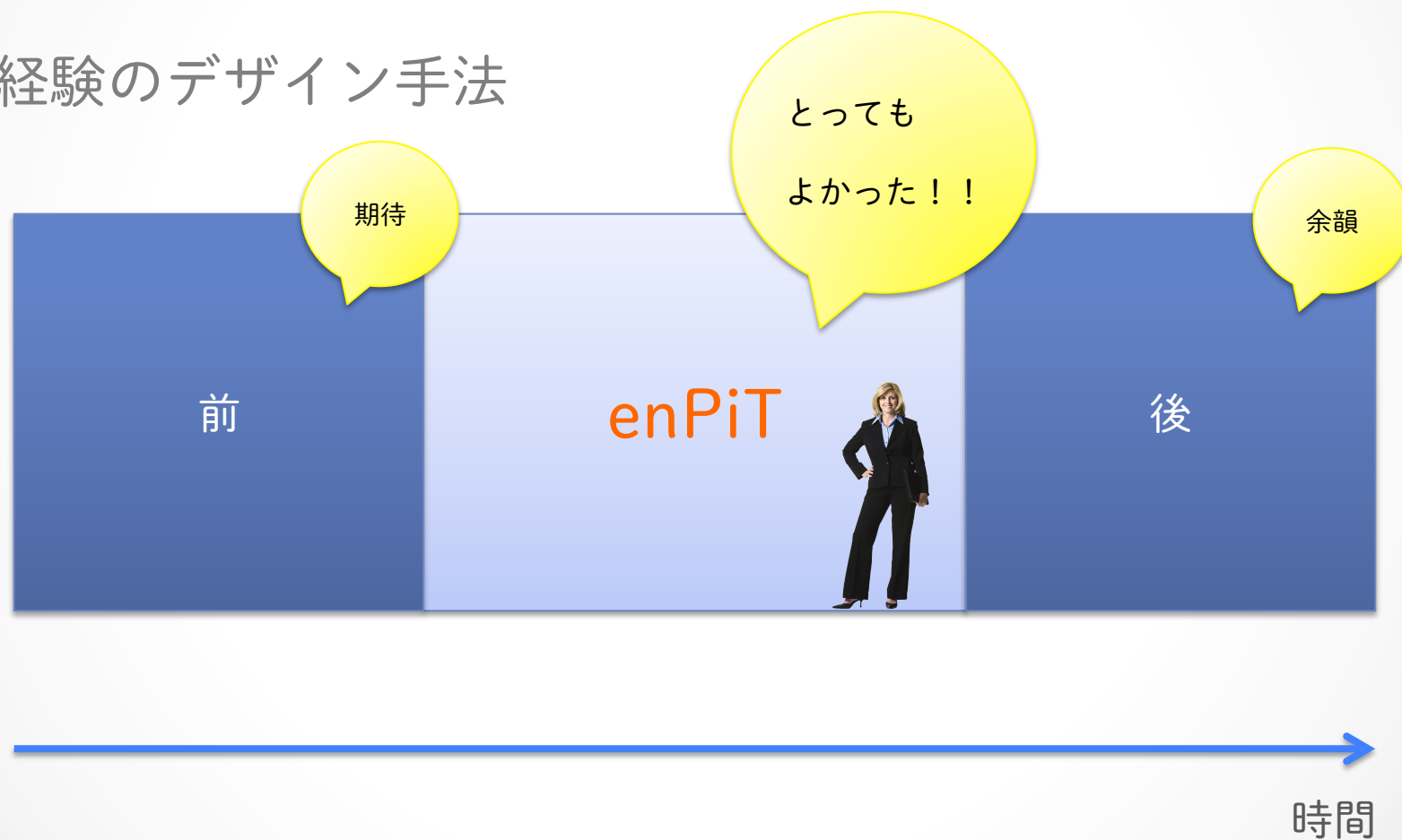


Experience Map とは



Experience Map とは

- 経験のデザイン手法

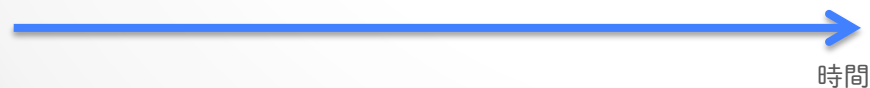
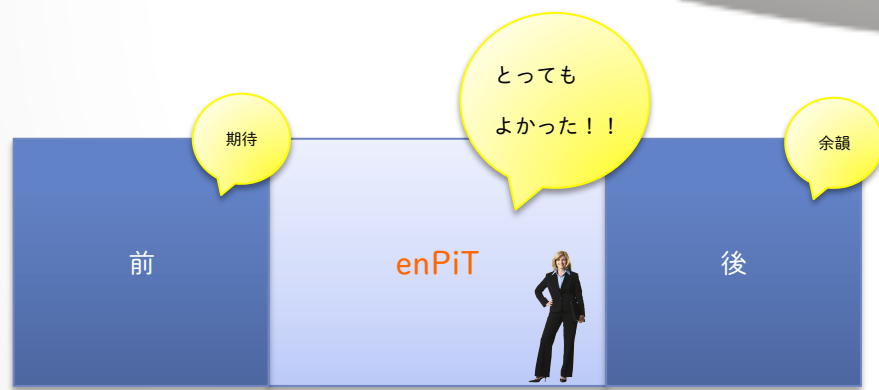


Experience Map

未来の自分



なるほど！
あの時のアレは
こういうこと
だったのか！



Experience Map の作成作業

本当はみなさんに最初から作ってもらいたいのですが、

今回は時間が少ないので、

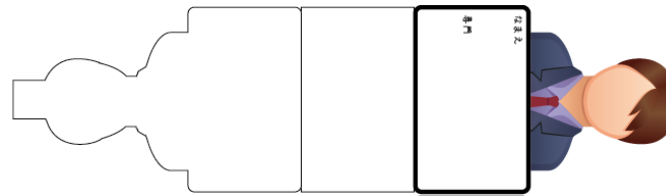
すでに大枠だけ書いた**作成キット**を用意しました。

準備 1

- パーツごとに机の上に分けて置きます。



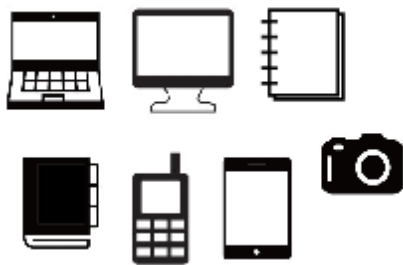
Landmarksシール



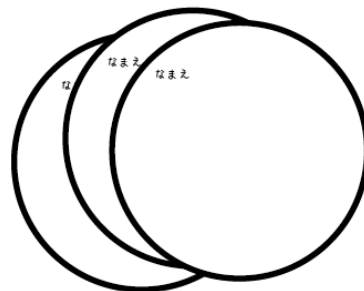
Playerこま



道具類



Toolsシール



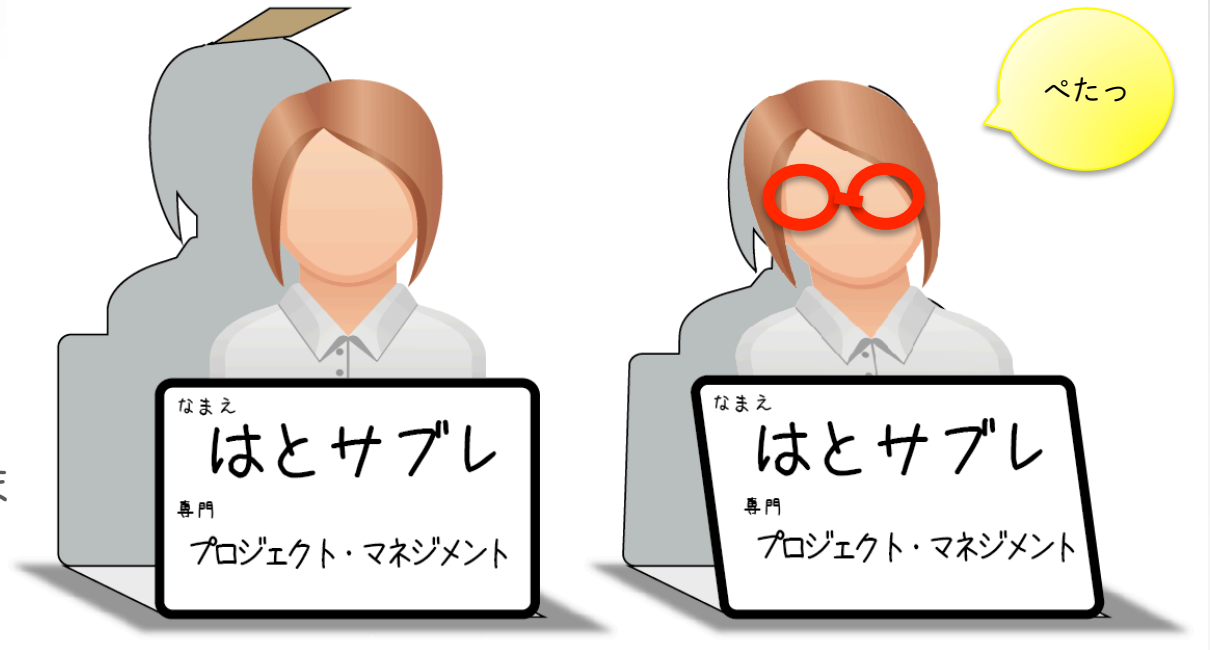
Playerシール



Experience Map 模造紙

準備 2

Playerこま

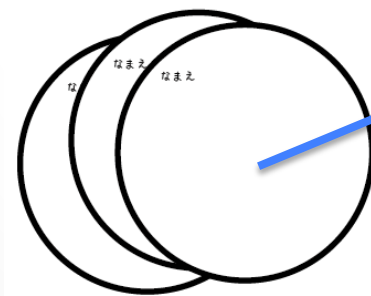


- **Playerこま** に名前（ニックネーム可）、専門を書く
- 組み立てる（両面テープを使って）、顔に落書き可

準備 3

- **Playerシール** に名前（ニックネーム+本名）を書く
- Experience Map 模造紙の Player と書いた丸の好きなところに貼る

ここがスタート地点です。
Playerこま も置いてください。



Playerシール

Experience Map 模造紙



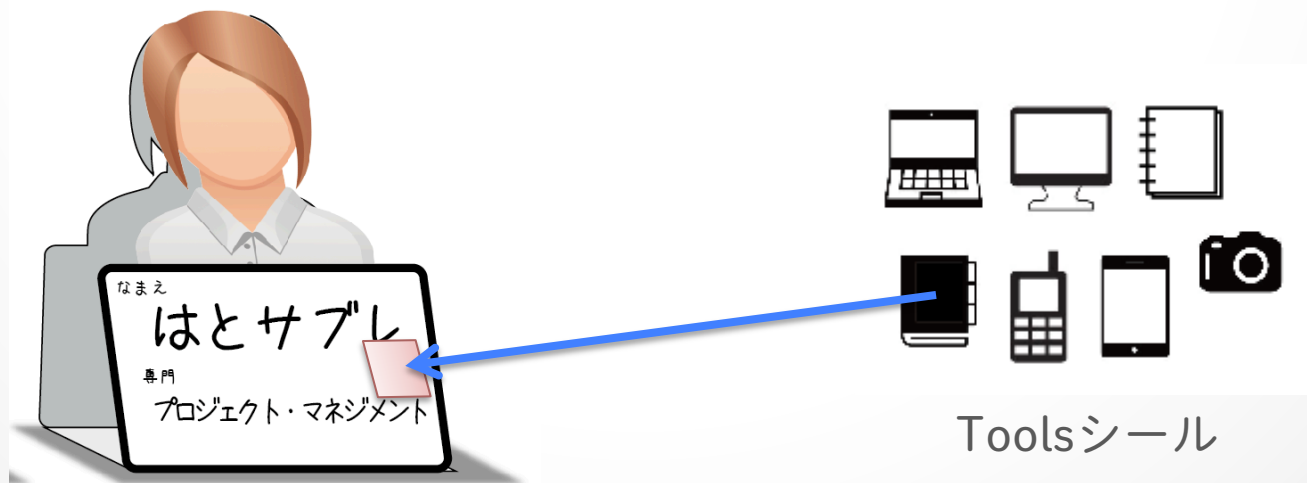
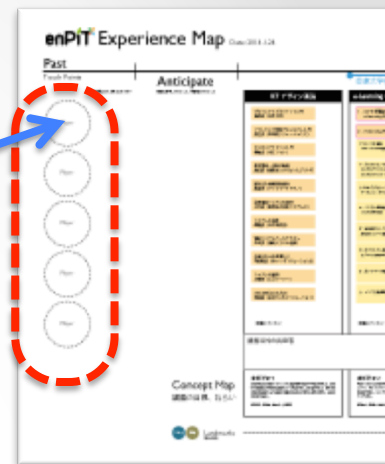
Experience Map の作成

開始！

スタート！

- さて、スタート地点です。
ここはenPiTを受講する前の自分の位置です。

- このとき「自分の専門研究に」主に使っていた道具を
Toolsシールから探して、自分の**Player**こまに、貼って
ください。（なかったら白紙のものに自分で描く）

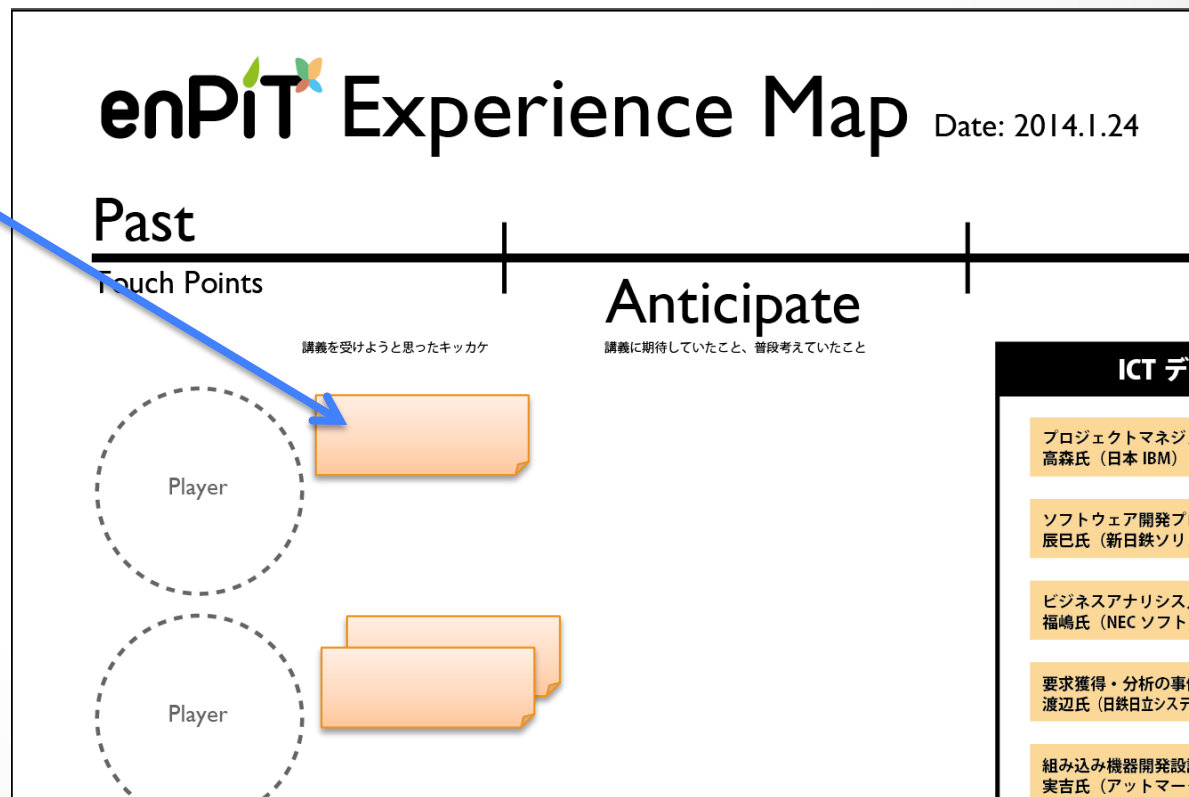


enPiT 受講前の自分

- 当時を思い出して、黄色の付箋にenPiTを受けようと思ったキッカケを正直に書いてください

- このへんに貼ってください

- なるべくたくさんだと嬉しい

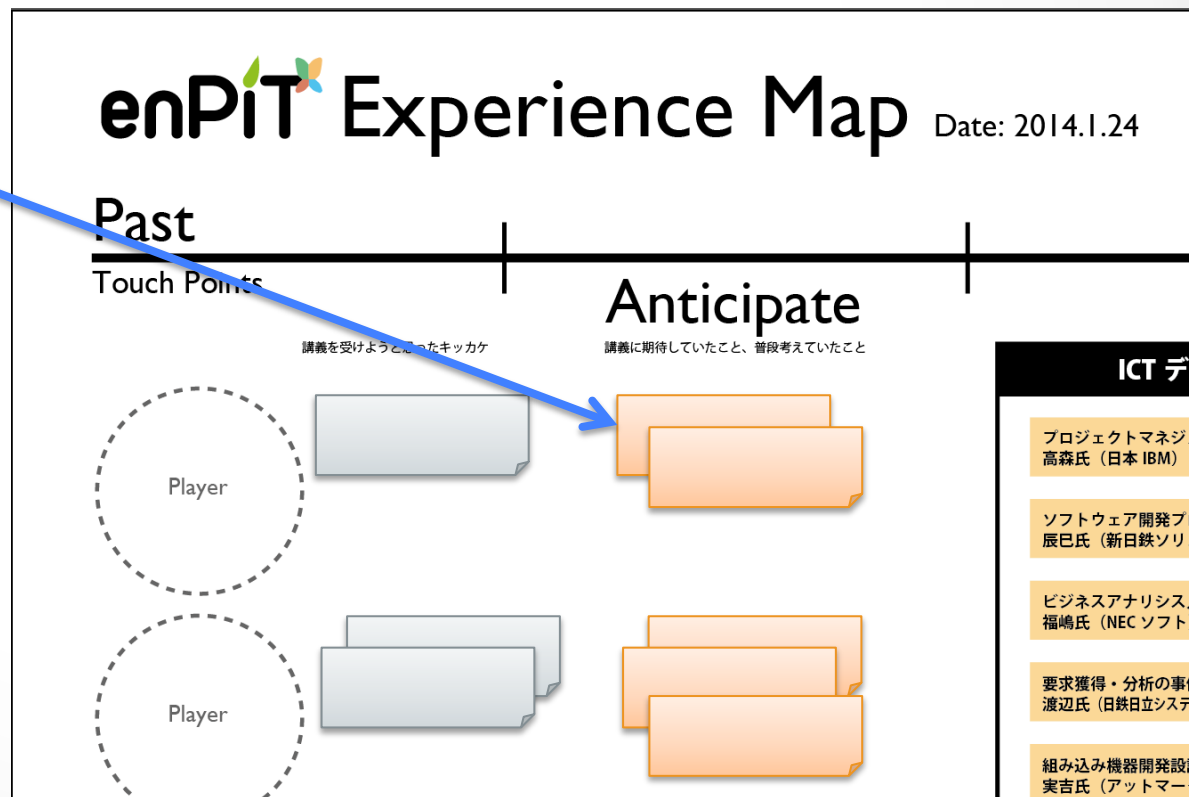


enPiT 直前の期待

- なんとなく期待してたこと、やってみたいと思っていたことを、黄色の付箋に書いてください

- このへんに貼ってください

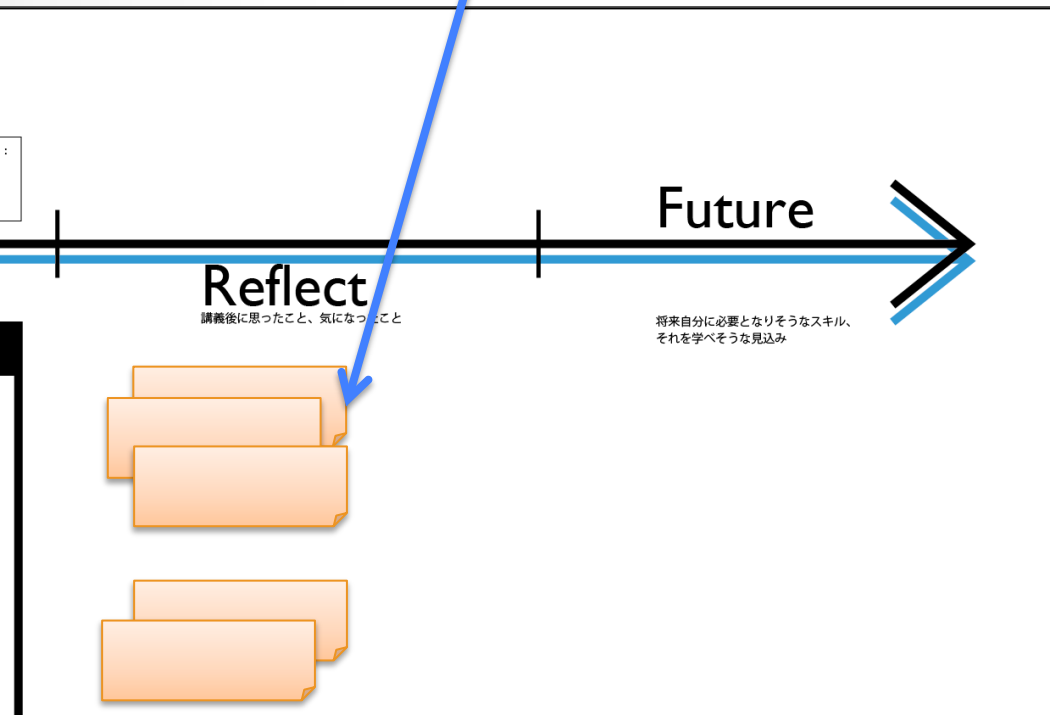
- なるべくたくさんだと嬉しい



enPiT 受講後のこと

- ちょっと飛んで、

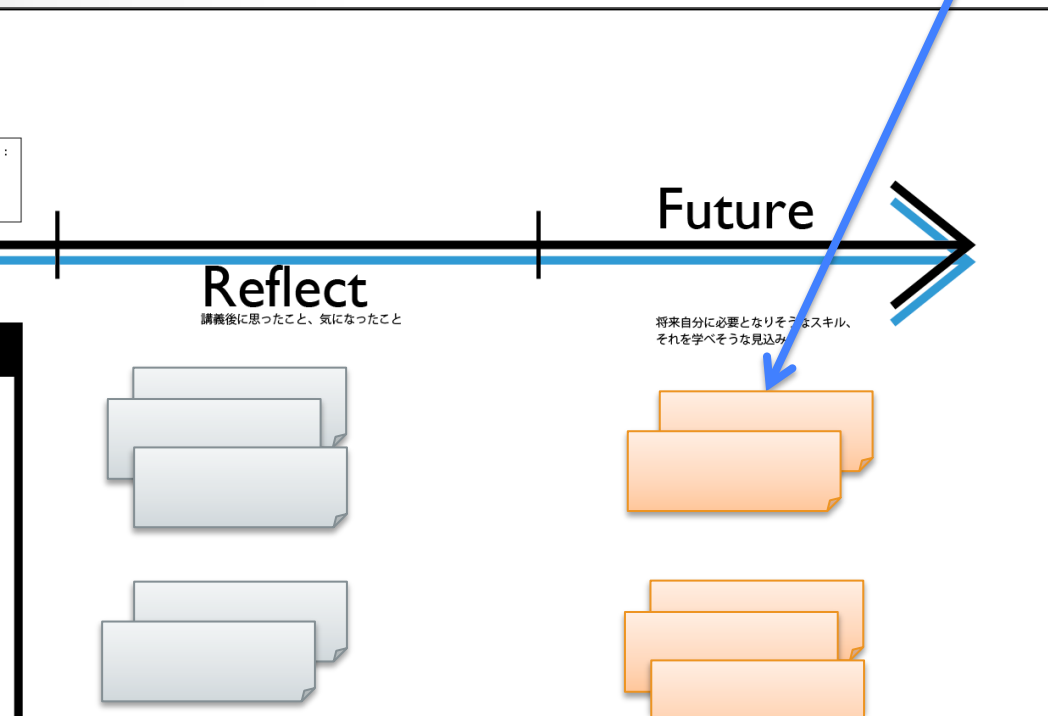
enPiT受講後の感想を簡単に貼ってください



enPiT 受講後のこと

- 次に、

将来の自分（専門職に着いた後）どんなふうになりたいかを簡単に貼ってください



- 例えば、

就きたい職業、
貢献したいこと、

そのために必要なスキル、
こういう人物になりたい、

など…

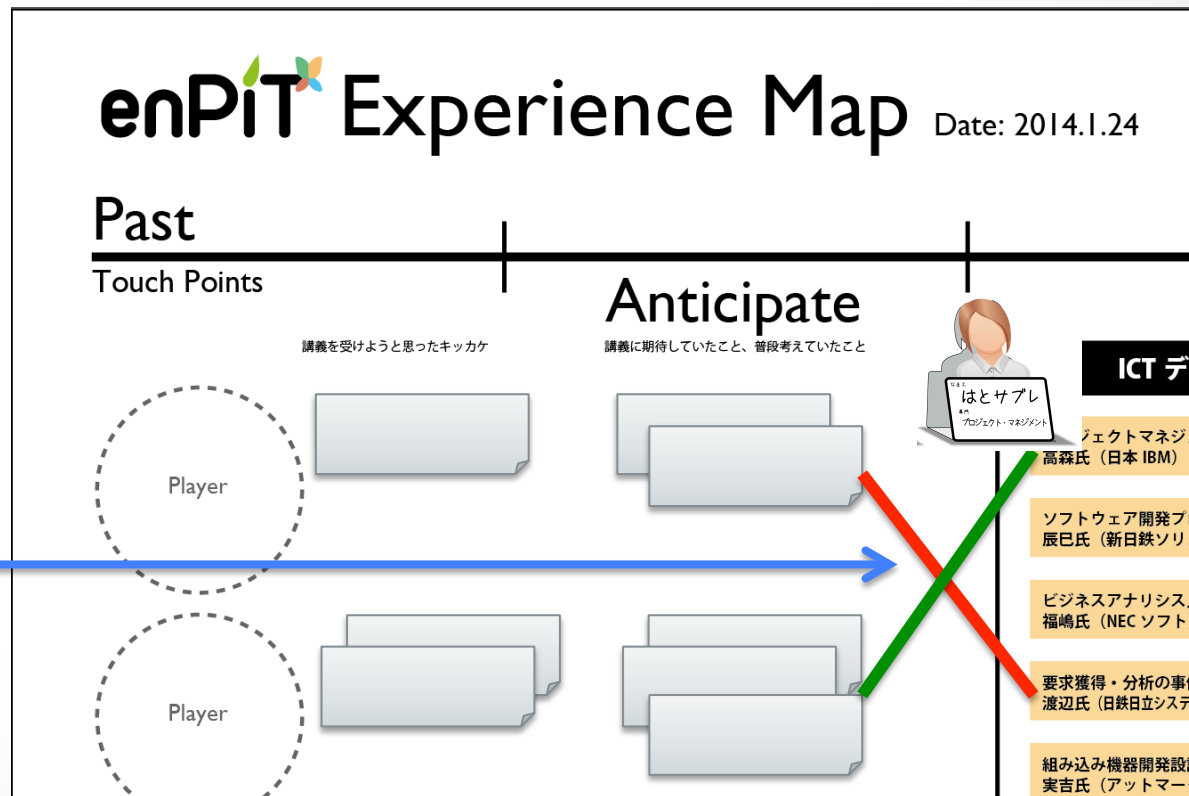
ICTデザイン通論

ICTデザイン通論

1. さて、ちょっと過去に戻ります。
自分の好きな色のペンを持ってください。

2. 講義を思い出そう

3. 自分のペンで、
自分が特に**ために**
なったと思う講義
に線をつないで
ください。



ICTデザイン通論

4. そこで得た経験を授業名の右に付箋で貼ってください

例)

～について分かった、
～を知るキッカケになった
～がよく分からなかった
本当は～を期待していた

The screenshot shows a course page for "ICTデザイン通論". At the top right, there is a profile icon for "はとサブレ" (Hato Sabure) with the title "プロジェクト・マネジメント". Below the title, the course name "ICT デザイン通論" is displayed. The main content area lists four topics, each with a sticky note attached to its right side:

- プロジェクトマネジメント入門
高森氏 (日本 IBM)
- ソフトウェア開発プロジェクト入門
辰巳氏 (新日鉄ソリューションズ)
- ビジネスアナリシス入門
福嶋氏 (NEC ソフト)
- 要求獲得・分析の事例
渡辺氏 (日経日立システムエンジニアリング)

On the right side of the page, there is a vertical sidebar with a blue key icon and the text "e-". Below this, there are two numbered boxes: "1" (pink) and "2" (yellow). A blue arrow points from the text "で貼ってください" to the first sticky note. A green checkmark is visible next to the second sticky note, and a red X is visible next to the third and fourth sticky notes.

ICTデザイン通論

5. 下の方には、**Concept Map** があります。
今回のデザイナー（授業設計者）の意図
を記載しています。

Landmarksシール



ここに、適切だと思う
Landmarksのシールを
選んで置いてください。

※ 後で貼ります

適切なものがなければ、
自分で書き足して！

・受講していない

講義以外の出来事

事前学習 1
本学教員および学外の ICT システム設計分野の複数の専門家が連携して、最先端の技術動向や実践的な技術について講義を行う。本講義を通じて、受講者は実践的な技術の一端や技術者が経験する実際上の問題と課題を理解し、総合的な判断力を養う。
主な講師：伊藤恵（未来大）、外部講師

スキル 知識 Landmarks
学びの布石

ICTデザイン通論

6. 講義以外で得られた経験があれば、
忘れないように貼っておいてください

例)

インターンシップ、
友人とコンペに応募、
起業した、
バイトを始めた、 など

・受講していない

講義以外の出来事

事前学習 1

本学教員および学外の ICT システム設計分野の複数の専門家が選抜して、最先端の技術動向や実践的な技術について講義を行う。本講義を通じて、受講者は実践的な技術の一端や技術者が経験する実際上の問題と課題を理解し、総合的な判断力を養う。

主な講師：伊藤直（未来大）、外部講師

Concept Map
講義の目標、ねらい

スキル 知識 Landmarks
学びの布石

ICTデザイン通論

完了しましたか？

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】

e-Learningを用いた基礎知識習得

e-Learningを用いた基礎知識習得

1. 該当するところに線をつなげてください
受講した人は、チェックマークを書いてください
2. そこで得た経験を項目の右側に付箋で貼ってください

会津大学参加

ICT デザイン通論

プロジェクトマネジメント入門
高森氏 (日本 IBM)

ソフトウェア開発プロジェクト入門
辰巳氏 (新日鉄ソリューションズ)

ビジネスアナリシス入門
福嶋氏 (NEC ソフト)

要求獲得・分析の事例
渡辺氏 (日鉄日立システムエンジニアリング)

組み込み機器開発設計
実吉氏 (アットマークテクノ)

e-Learning を用いた基礎知識習得

1. enPiT 受講条件をすでに満たしていたので、
e-Learning を受講していない

2. e-Learning を受講した

ア.OS / DB 機能
UNIX / Linux- 基本操作と Web / DB サーバー機能 -

イ. プログラミング言語
Java プログラミング - 基本文法編 -
Java プログラミング - アルゴリズム実践編 -

ウ. Web アプリケーション開発

e-Learningを用いた基礎知識習得

完了しましたか？

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】

≡ = PBL

ビジネスアプリケーション開発基礎演習（ミニPBL）



≡ 二 PBL

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】

Learning

会津大生 in 函館

知識習得

こので、

（付箋）

ビジネスアプリケーション開発基礎演習（ミニ PBL）

- A チーム（分散）
物品貸出管理システム
*中山・齊毛・徳田・伊藤・丹
ビジネスアプリケーション開発基礎演習
2015/3/28
- B チーム（分散）
物品貸出管理システムの開発
Bチーム
コンピュータ実習講師 中山 浩一
システム実習講師 齊毛 隆夫 (M2)
中山 浩一 (M1) 徳田 大輔 (M1)
伊藤 大輔 (M1) 丹 大輔 (M1)
入部発表 (M1)
ビジネスアプリケーション開発基礎発表
2015/3/30
- C チーム

ビジネスサービ

- A チーム
病院
- B チーム
- C チーム

≡ 二PBL

完了しましたか？

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】

大黒湯WS

大黒湯WS

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】

Learning

会津大生 in 函館

演習 (ミニ PBL)

ビジネスサービスデザイン実践 (大黒湯)

Aチーム

Bチーム

Cチーム

Aチーム

Bチーム

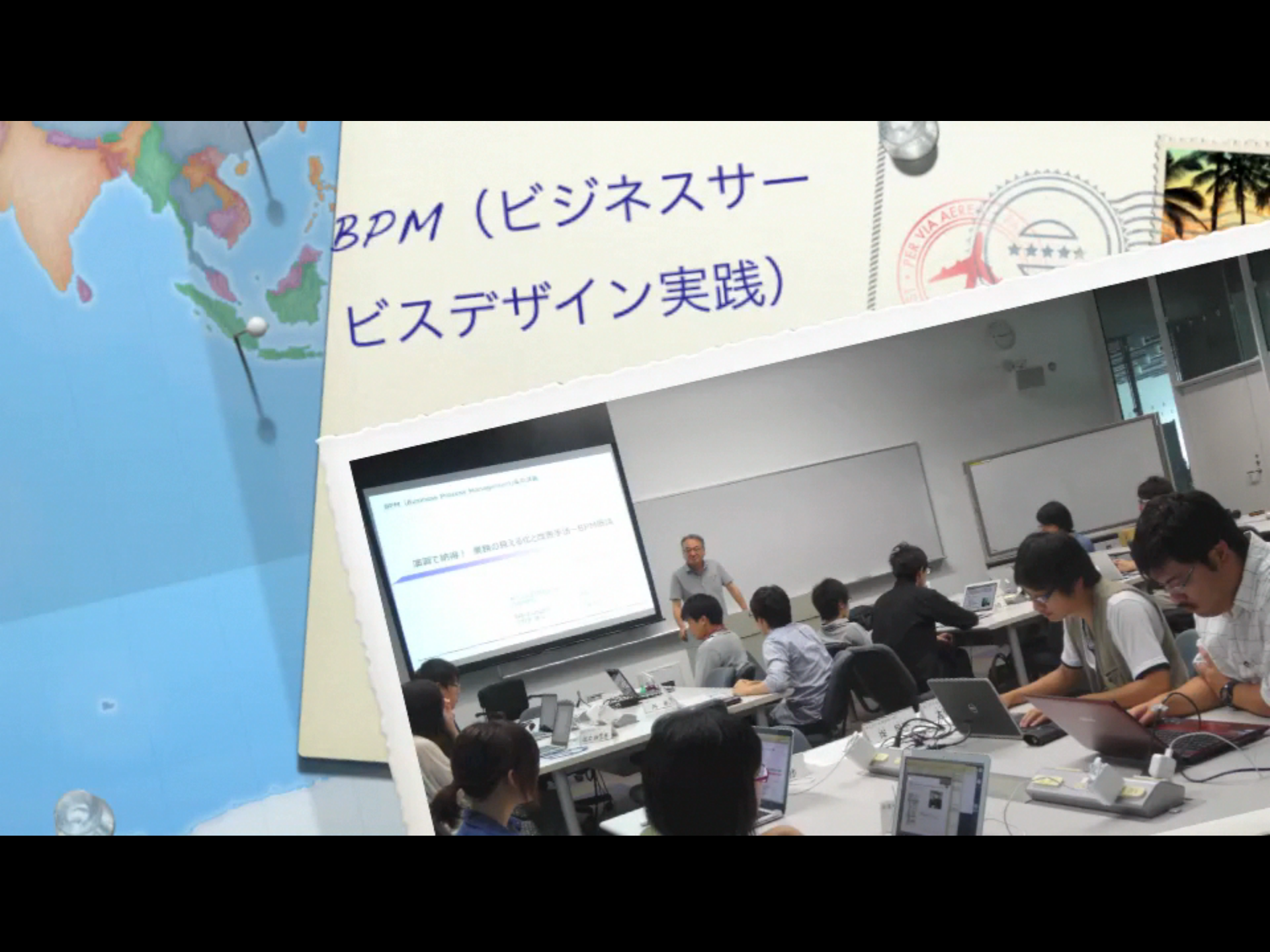
Cチーム

大黒湯WS

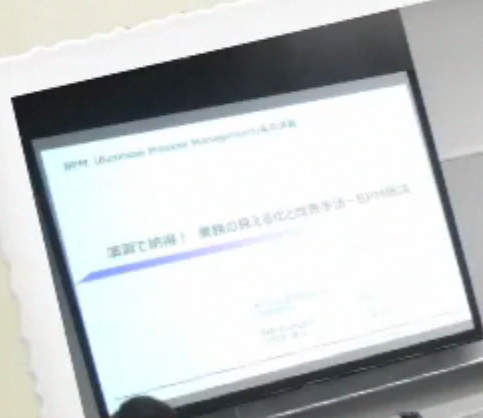
完了しましたか？

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】

BPM

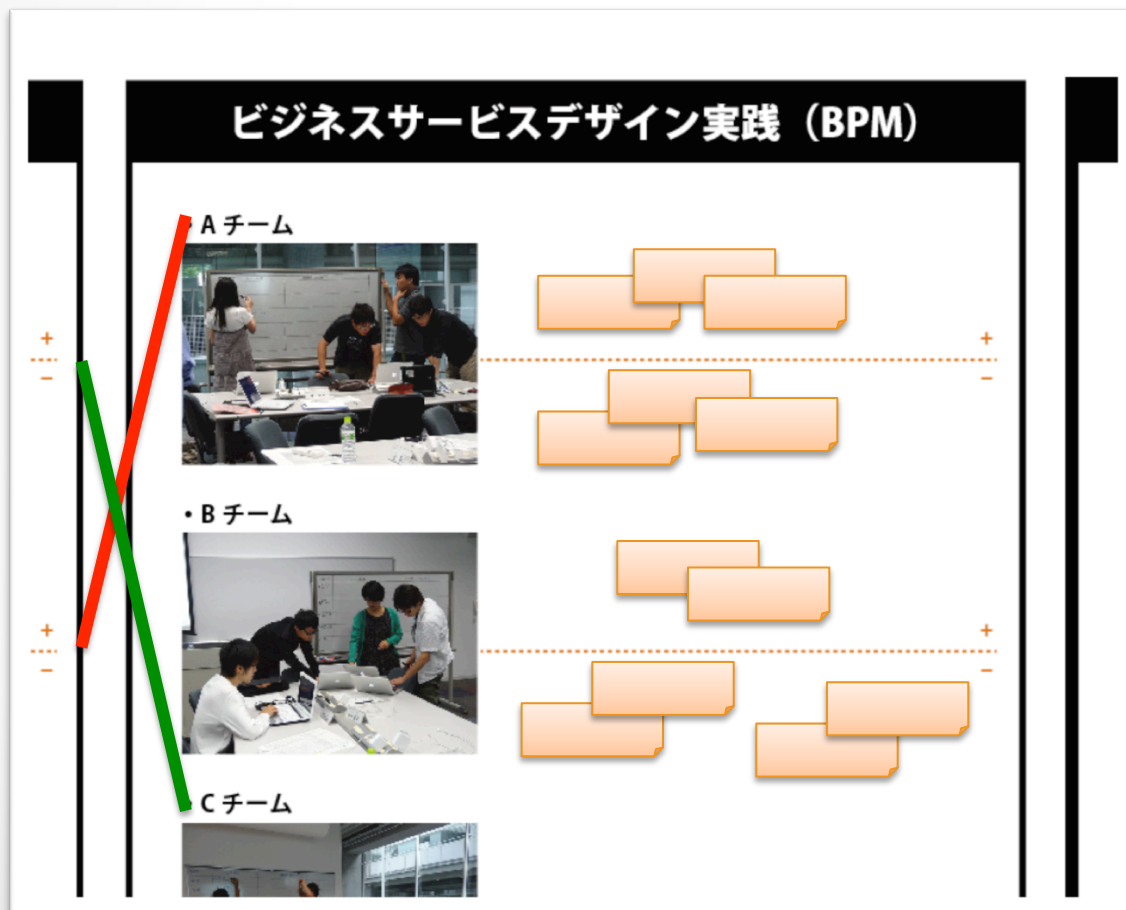


BPM (ビジネスサー ビスデザイン実践)



BPM

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】



BPM

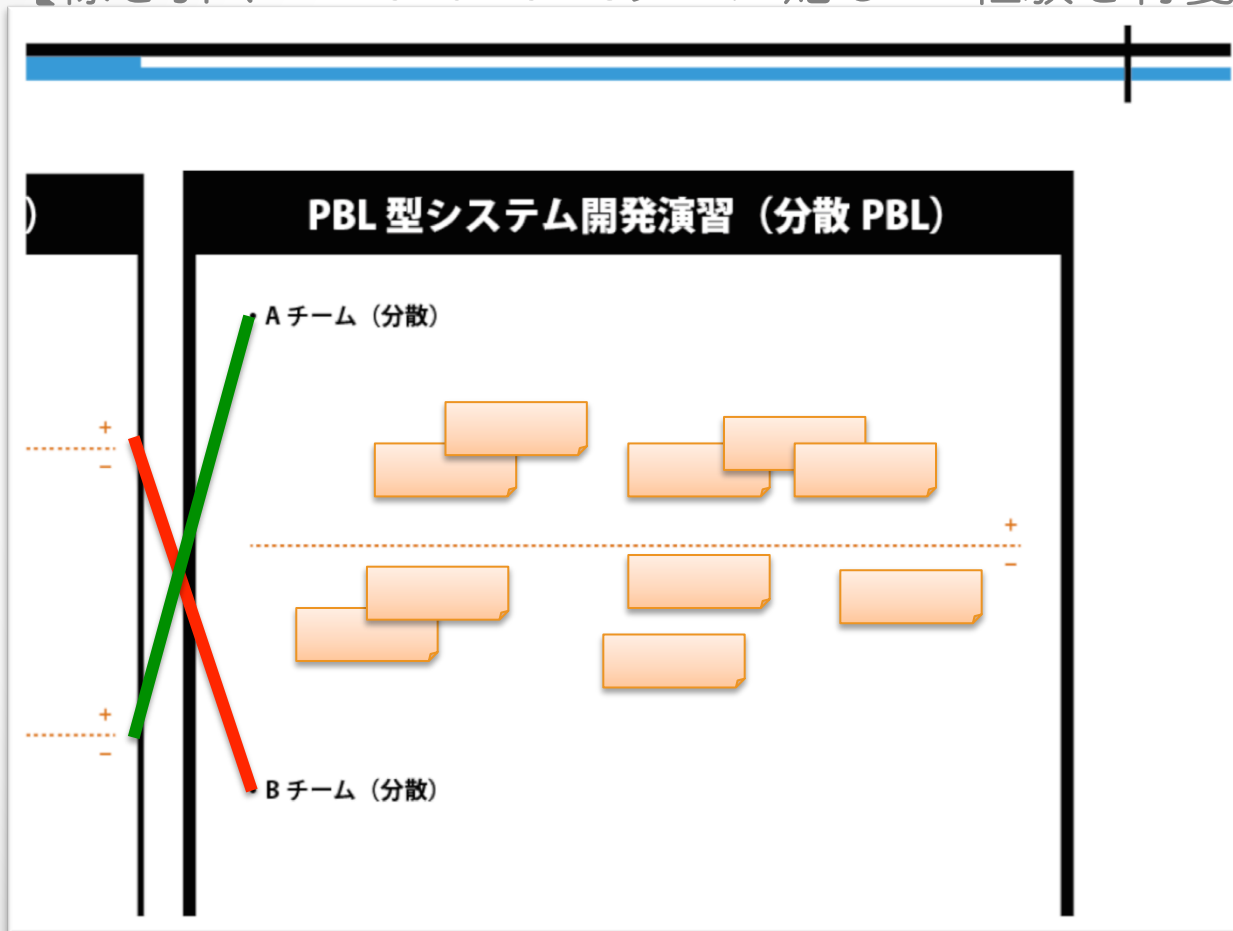
完了しましたか？

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】

分散PBL（この授業）

分散PBL

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】



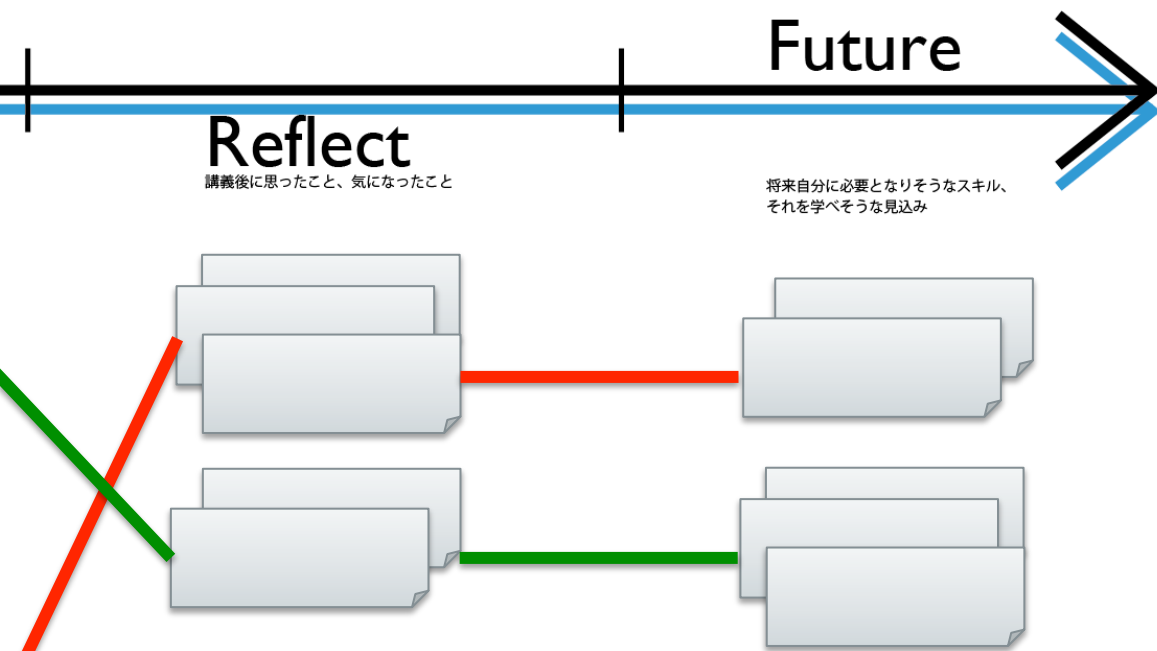
分散PBL

完了しましたか？

【線を引く → Landmarksシール貼る → 経験を付箋で貼る】

最後に

1. これらを最後までつなげてください。Futureが終点です。
2. Landmarksシール貼付け位置を決めて、貼ってください。



3. 道具シールは、**使った授業** (使い方を知ったところ)に自由に貼っていいです。

全体を見通して…

- どうでしょう???
- 振り返ってみたら、ここでこういうことをやっておけばよかった。もっとこうしておけばよかった、ということがあるかもしれません。
- もしあれば最後に、**Reflect**のところに付け加え、重要だと思った付箋には色で線を引いてください。

iPadのような機材がいつでも
利用できるよかったです

全員と連絡する方法を
話し合いしておけばよかった

各チームでMap発表

どんなMapになったか、教えてください。

最後に！

5コマで描いて…

- enPiT 5つの授業（理想）を5コマで書くと、どんなストーリーになりますか？
- 1人1枚。ササッと。
- 絵は描いてもいい。
文章・キーワードだけでもいいです。

5コマまんが

①	④
②	⑤
③	

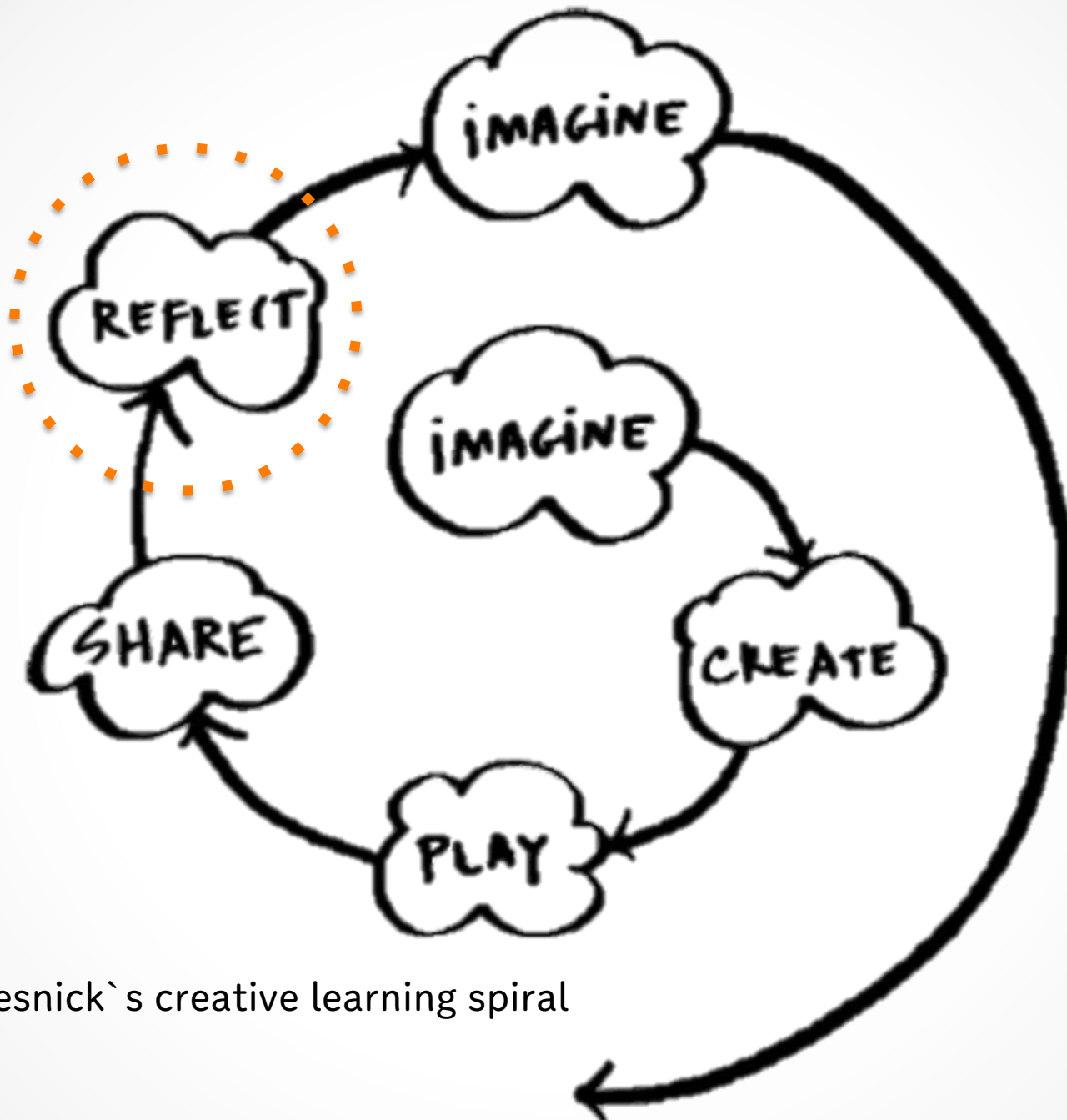
名前 _____

おつかれさまでした！

まとめにはいります。

まとめ

- 振り返り（Experience Map）の目的は、皆さん自身に学びの全体像を俯瞰してもらうことでした。
- enPiTの講義をこちらでガチガチに固めて、最適化された学習環境で学ぶより、寄り道・失敗も程よくあってよかった…？
- 今回期待してたけど学べなかったところは、ぜひ別の機会に学べるように、皆さんが心がけてください。



Mitch Resnick`s creative learning spiral